



Dr.塚田の健康コラム

今年の花粉飛散予測は？

ちょっと役立つ

塚田芳久(つかだ・よしひさ) / 1979年新潟大学医学部卒。2016年から県立新潟田病院長、現名誉院長。23年からJA新潟厚生連理事長。新潟県ボウリング連盟会長(03年～)、JBC理事(08年～22年)、同副会長(20年～22年) / 日本協公認スポーツドクター、JOC医・科学強化スタッフ

例年2月に入ると、花粉症の季節です。今年の予測をまとめてみました。

2023年春は、花粉飛散の当たり年といわれました。当たり年の翌年は、花芽の形成や花粉の飛散量は減少する傾向にあります。一方で前年夏の気象条件も影響し、高温であったことからすると、今年の飛散量は多い予想となります。

12月に発表された、一般社団法人日本気象協会の飛散予測によると、全体的には平年並

みということですが、

時期的には、例年2月に入ると、九州、中四国、東海、関東甲信の一部から飛散開始となります。2月中旬には近畿、北陸、東北南部に拡大し、3月にピークを迎えます。スギの雄花は初冬の冷え込みにより、休眠打破が早くなります。暖冬の今年は少し早くなりますね。1cmあたり1個以上のスギ花粉が2日連続で観察される、飛散開始日が発表されるのでご確認ください。

前シーズン比の予想は、スギ・ヒノキの花粉を中心に、北陸、関東甲信は60%、九州、中四国、近畿は70~80%と少なめです。一方で東北北部は180%、シラカバの花粉が主体の北海道は600%以上と、北に多い地域差予想が出ています。花粉は飛散開始日前から少しずつ飛んできます。花粉症をお持ちの方は、薬の準備を始めてください。

国も昨年10月に発生源対策、飛散対策、発症等対策を3本柱



とする、花粉症対策10年計画の集中対策を立てています。内容は、スギ人工林の伐採・植替え、スギ材需要拡大、花粉の少ない苗木生産拡大などの発生源対策、スギ花粉飛散量予測や飛散防止の飛散対策、治療のガ

イドライン改訂や花粉対策製品普及や開発や予防などの発症・暴露対策などです。

森林を管理する国土交通省・林野庁や状況管理の環境省を中心に、治療に関する厚生労働省、住まい・衣類・洗剤などに関して経済産業省、学校生活に関して文部科学省など多くの省庁を、内閣官房が束ねた体制で、私はその成果を大いに期待しています。人口の3割から4割が患い、国民病といわれる花粉症はいつ減るのかな。



知って得するボウリング用品の知識

佐藤秀樹プロが指南

23. ボールの持ち込み制限について



佐藤秀樹(さとう・ひでき) / 1982年8月22日生まれ、山梨県出身。2007年プロ入り(46期 / ライセンスNo1137)。172cm68kg。プロショップVEGA所属(プロショップ直販部マネージャー) / JPBA公認C級インストラクター、JBC公認ドリラー(シルバー)。

今回はプロトーナメントのボール持ち込み関係のルールについてお話しさせていただきます。

トーナメントごとに、最大12個までボールの登録が可能で、持ち込み制限のない前日練習で登録するボールを確定させます。一度登録したボールは取り下げることができませんが、制限枠内であれば、追加することは可能です。必ずしも12個登録しなければならないわけではありませんので、追加分を考

慮して枠を空けておくこともあります。

全参加選手が、登録した12個をすべて会場内に持ち込んでしまうと、会場が大変なことになるため、会場内へのボール持ち込み制限が存在します。これは競技の公平性を保つ上でも、重要なルールとなっています。

基本的な持ち込み制限は、会場内最大6個までとなります。参加人数や会場の規模により、会場(ボウリングフロア)内への

最大持ち込み数は6個でも、ボックス内に持ち込めるボールが最大4個までとなるケース、またボックス内1バッグまでのケースとさまざまです。

この場合は、どちらも練習投球中に6個から4個に絞り、その後ゲームが始まる時に、残りのボールを指定された場所に移す必要があります。これらは制限内であれば、ゲーム中での入れ替えも問題ありませんので、会場内のボール置き場や、指定された場所で入れ替えを

する場合もあります。ただし全日本選手権に限り、登録した12個すべてを会場内に持ち込みが可能です。

またボール置き場に関して、ルールで定められているわけではありませんが、整理整頓するために工夫されていることがあります。それは、自立式の3個入れツアーキャリーバッグを使用し、スペースを最小限に抑えることです。自立させることがで



▲需要が高まっている、ボールの収納に特化した自立式の3個入れキャリーバッグ

るので縦に置いて、より多くのバッグを収納することができるため、需要が高まっていま

す。ボールのみの収納になるので、2個目のバッグとしてオススメです。



棚橋孝太プロのプロショップ探訪

プラグにも細心の気づかい

③永山コパボウル プロショップ (東京都多摩市)

ioリーグがスタートして、プロボウリングも新しい挑戦が始まりました。ボウリング界全体が盛り上がるようになるといいですね。

今月紹介するショップは、東京都多摩市にある、永山コパボウルのプロショップです。メインドリラーは、46期生の今泉秀規プロ。他にも47期生の門奈大介プロと女性ドリラーの中村裕美さんの二人も担当します。

今泉プロと言えば、プロボウラーでありドリラーでもあるのですが、指導者としての手腕にも定評があります。以前からジュニア育成に力を入れており、現在トッププロとして活躍して

いる坂本かや・就馬の姉弟プロも教え子です。

ドリルに際しては「お客様の要望をうかがうのはもちろんで

すが、ただ聞くだけでなく、こうしたらこうなりますよという説明はしっかりするようにしています」と今泉プロ。

またドリルの正確さは、誤差32分の1インチも違わずに仕上げるようにしているそうです。もち



▲ドリルはもちろん指導者としても定評のある今泉プロ



▲どこをプラグしたのか一見では判別できない出来栄

ろんレイアウトに関しても、PAPの測定はもちろん、お客様の球質やスピード、投げる環境や目的などに応じて相談に乗ってくれます。

ボールを埋めるプラグにもこだわりがあり、その作業を中心になって担当する中村さんは「ただ埋めればよいのではなく、なるべくそのボールの色や模様に合わせて、目立たないようにプラグ作業をしています」とのことです。実際にプラグをしたボールを見せていただくと、どこをプラグしたのか見つけるのに時間がかかるほどの、素晴らしい色合わせでした。評判を聞いて来られるお客様も増えているそうです。レッスンやチャレン



▲所属プロの似顔絵入りオリジナルシャミーも多数販売中

ジに参加がたら、プロショップも気軽にのぞいてみてください。優しく相談に乗ってくれますよ。

棚橋孝太(たなはしこうた) / 1982年1月19日生まれ、高知県出身。2007年プロ入り(46期 / ライセンスNo1145)。168cm72kg、右投げ。優勝1回。JOC強化スタッフ・日本スポーツ協会公認指導員・USBCシルバーコーチ・JBC公認ドリラー